



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月7日

上場会社名 山九株式会社
コード番号 9065 URL <http://www.sankyu.co.jp>

上場取引所 東 福

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 公一
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 小林 信久

TEL 03-3536-3939

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	196,595	5.7	9,572	△0.7	9,606	9.1	5,594	32.5
23年3月期第2四半期	185,981	△3.1	9,635	△18.9	8,802	△22.0	4,221	△34.6

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 5,394百万円 (158.6%) 23年3月期第2四半期 2,085百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	18.02	—
23年3月期第2四半期	13.60	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	297,449	110,145	36.2
23年3月期	285,939	107,065	36.7

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 107,688百万円 23年3月期 105,044百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	9.00	9.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	9.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	400,000	7.2	19,400	3.5	19,100	8.7	11,300	37.7	36.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	326,078,030 株	23年3月期	326,078,030 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

24年3月期2Q	15,673,831 株	23年3月期	15,640,678 株
----------	--------------	--------	--------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	310,417,492 株	23年3月期2Q	310,517,445 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○目 次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(7) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災により当初は生産活動が大幅に減退したもののサプライチェーンの復旧などで持ち直しの兆しも見られました。然しながら欧州の債務問題への懸念を背景として、円高が急速に進むなど輸出産業の競争力の低下や国内設備投資の低迷などが重なり本格回復には至りませんでした。アジア諸国や中国などの新興国はインフレ懸念を抱えながらも金融引き締め政策が景気過熱の抑制となっており成長基調は緩やかながら持続しておりますが、欧州経済の失速を発端として世界経済はグローバルな金融不安に波及する可能性もあり、先行きは不透明な状況となっております。

このような経済情勢下、当社連結グループにおいては、物流分野では震災や円高の影響もあってお客様の生産量、販売量が停滞したことなどにより既存作業の取扱量は伸び悩みました。一方、機工分野では震災復旧に関する工事を行いました。お客様の設備投資圧縮やSDM（大型定期修理工事）がマイナーだったこともあり国内の工事量は若干の伸びに留まりました。

かかる事業環境に対して、当社連結グループは競争力のあるコスト構造を創り出すことにより、お客様からのコスト削減要請への対応と売上拡大を図ることで、収益を生み出せる体質の更なる強化を推進しております。競争力強化のために原価率の低減と間接経費の削減を推進し、更なる収益体質の強化に取り組んでおります。

また、売上拡大に向けての取り組みとして、お客様のアウトソーシングニーズに対応すべく、3PL（一括物流）、3PM（一括メンテナンス）などの各事業分野の専門性を活かし、国内だけでなく海外での一層の競争力強化と生産性・作業品質・安全品質の向上に取り組み、グローバルな事業拡大に向けた施策を積極的に展開しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は1,965億95百万円と前年同期比5.7%の増収となりました。また、利益面においては営業利益が95億72百万円と0.7%の減益、経常利益は96億6百万円と9.1%の増益、四半期純利益は55億94百万円と32.5%の増益となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

① 物流事業

物流事業は、主要港や地方港でコンテナ取扱量が減少したことなどで港湾物流での作業量は伸び悩みましたが、調達代行作業や3PL新規受注作業を開始したことで国際物流やネットワーク物流での取扱量が増加しました。また、国内では震災などの影響もあり、鉄鋼、石油・石化関連などのお客様の生産量・販売量が停滞した関係で客先構内での作業量は減少しましたが、一方、海外では鉄鋼関連のお客様の構内での作業量が増加しました。

売上高は1,095億85百万円と前年同期比8.5%の増収、セグメント利益（営業利益）は23億90百万円と前年同期比2.6%の増益となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間の売上高に占める割合は55.8%であります。

② 機工事業

機工事業は、国内での震災関連の復旧工事などを行ったことで作業量を確保しましたが、お客様の新規設備投資は圧縮が継続されており大規模工事案件も減少しました。保全作業は設備の安定操業の為のお客様の需要は高く受注は堅調ですが、SDMはマイナーであったことで大型案件が減少しました。一方、海外では鉄鋼関連のお客様の工場構内での設備解体・据付工事や整備作業などが増加し、石油・石化関連でのお客様設備の日常保全やSDMなどの作業も増加しました。

売上高は775億7百万円と前年同期比4.6%の増収、セグメント利益（営業利益）は66億80百万円と前年同期比2.8%の減益となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間の売上高に占める割合は39.4%であります。

③ その他

その他は、震災復旧対応での機材賃貸などの増加がありましたが、前年同期には、建設工事の完成があったことなどから工事量が減少しました。

売上高は95億2百万円と前年同期比12.4%の減収、セグメント利益（営業利益）は4億21百万円と前年同期比10.7%の減益となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間の売上高に占める割合は4.8%であります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は1,267億30百万円であり、前連結会計年度末に比べ77億46百万円と6.5%増加しました。主な要因は、売上の増加に伴う受取手形及び売掛金の増加等によるものです。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は1,707億18百万円であり、前連結会計年度末に比べ37億63百万円と2.3%増加しました。主な要因は、新規設備投資による有形固定資産の増加や投資有価証券の時価下落による減少等の差によるものです。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は1,054億92百万円であり、前連結会計年度末に比べ67億59百万円と6.8%増加しました。主な要因は、売上の増加に伴う外注費等の増加による支払手形及び買掛金の増加や未払法人税等の増加等によるものです。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債は818億10百万円であり、前連結会計年度末に比べ16億69百万円と2.1%増加しました。主な要因は、投資等に係る長期借入金の増加、退職金支出に伴う退職給付引当金の減少等の差によるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は1,101億45百万円であり、前連結会計年度末に比べ30億79百万円と2.9%増加しました。主な要因は、利益剰余金の増加、為替の変動による為替換算調整勘定の増加、上場有価証券の時価評価下落によるその他有価証券評価差額金の減少等の差によるものです。

当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は、前連結会計年度末を0.5ポイント下回る36.2%となっております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績見通しにつきましては、平成23年7月29日公表からの変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対す

る税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,975	17,101
受取手形及び売掛金	89,822	95,008
有価証券	1,723	2,349
未成作業支出金	1,898	2,829
その他	7,708	9,541
貸倒引当金	△143	△99
流動資産合計	118,984	126,730
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	52,292	52,041
土地	47,962	48,790
その他(純額)	19,702	21,152
有形固定資産合計	119,957	121,983
無形固定資産		
	6,099	8,547
投資その他の資産		
投資有価証券	17,660	16,333
その他	24,559	25,157
貸倒引当金	△1,321	△1,304
投資その他の資産合計	40,898	40,186
固定資産合計	166,955	170,718
資産合計	285,939	297,449

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	48,527	53,134
短期借入金	26,726	25,783
未払法人税等	2,522	4,666
未成作業受入金	253	439
賞与引当金	2,410	1,910
その他	18,293	19,558
流動負債合計	98,733	105,492
固定負債		
長期借入金	28,534	32,077
退職給付引当金	36,368	34,688
その他	15,238	15,045
固定負債合計	80,141	81,810
負債合計	178,874	187,303
純資産の部		
株主資本		
資本金	28,619	28,619
資本剰余金	11,943	11,943
利益剰余金	74,171	77,141
自己株式	△5,695	△5,708
株主資本合計	109,039	111,997
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,248	2,402
繰延ヘッジ損益	△283	△300
土地再評価差額金	△2,519	△2,541
為替換算調整勘定	△4,439	△3,869
その他の包括利益累計額合計	△3,994	△4,308
少数株主持分	2,020	2,456
純資産合計	107,065	110,145
負債純資産合計	285,939	297,449

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	185,981	196,595
売上原価	170,848	181,423
売上総利益	15,133	15,172
販売費及び一般管理費	5,497	5,599
営業利益	9,635	9,572
営業外収益		
受取利息	192	235
受取配当金	235	374
その他	499	694
営業外収益合計	927	1,304
営業外費用		
支払利息	606	457
その他	1,154	812
営業外費用合計	1,761	1,270
経常利益	8,802	9,606
特別利益		
段階取得に係る差益	—	375
特別利益合計	—	375
特別損失		
投資有価証券評価損	—	232
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	879	—
特別損失合計	879	232
税金等調整前四半期純利益	7,922	9,749
法人税等	3,600	4,079
少数株主損益調整前四半期純利益	4,322	5,670
少数株主利益	100	75
四半期純利益	4,221	5,594

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,322	5,670
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,587	△843
繰延ヘッジ損益	△34	△16
為替換算調整勘定	△595	538
持分法適用会社に対する持分相当額	△18	46
その他の包括利益合計	△2,236	△275
四半期包括利益	2,085	5,394
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,017	5,303
少数株主に係る四半期包括利益	68	91

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	7,922	9,749
減価償却費	5,465	5,612
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	879	—
受取利息及び受取配当金	△428	△609
支払利息	606	457
段階取得に係る差損益(△は益)	—	△375
投資有価証券評価損益(△は益)	—	232
売上債権の増減額(△は増加)	3,022	△3,563
未成作業受入金の増減額(△は減少)	△224	52
仕入債務の増減額(△は減少)	1,061	3,260
未成作業支出金の増減額(△は増加)	1,507	△758
その他	△2,822	△2,607
小計	16,990	11,450
利息及び配当金の受取額	496	540
利息の支払額	△630	△457
法人税等の支払額	△2,439	△2,308
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,417	9,225
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,491	△4,267
無形固定資産の取得による支出	△864	△1,110
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△2,487
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	992
その他	△155	△745
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,511	△7,617
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	63,416	93,852
短期借入金の返済による支出	△66,367	△96,679
長期借入れによる収入	4,000	8,781
長期借入金の返済による支出	△4,022	△4,088
配当金の支払額	△2,787	△2,786
その他	△1,835	△1,794
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,595	△2,716
現金及び現金同等物に係る換算差額	△252	197
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,057	△911
現金及び現金同等物の期首残高	16,861	17,932
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,919	17,020

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	物流事業	機工事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	101,038	74,091	175,130	10,851	185,981	—	185,981
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,167	1,684	4,851	3,048	7,900	△7,900	—
計	104,206	75,775	179,981	13,899	193,881	△7,900	185,981
セグメント利益	2,329	6,875	9,205	472	9,677	△41	9,635

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報システム、人材派遣、機材賃貸、土木・建築工事等の関連サービスを実施しております。

2. セグメント利益の調整額△41百万円は、未実現利益調整額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	物流事業	機工事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	109,585	77,507	187,092	9,502	196,595	—	196,595
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,920	1,726	4,646	3,024	7,670	△7,670	—
計	112,505	79,233	191,739	12,527	204,266	△7,670	196,595
セグメント利益	2,390	6,680	9,071	421	9,493	79	9,572

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報システム、人材派遣、機材賃貸、土木・建築工事等の関連サービスを実施しております。

2. セグメント利益の調整額79百万円は、未実現利益調整額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。